

以下、本文-----

過去 10 年間に当科を紹介受診した食物蛋白誘発胃腸炎患者の特徴

1. 研究の対象

2015 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに当科を紹介受診した食物蛋白誘発胃腸炎の患者さんです。

2. 研究目的・方法

2000 年頃から増加してきたと考えられる食物蛋白誘発胃腸炎は、多くの原因が牛乳でしたが、2010 年台後半からは卵黄が原因と考えられるものが急増してきました。本疾患には小麦や大豆、魚など他の食品によるものもあります。これらの疾患は、小児だけでなく、成人も罹患することが分かってきて報告されております。

しかし、その予後や、その診断方法、症状誘発時の対応方法についても、まだまだ解明しなければならないことが多い状況です。そこで、これらを明らかにしていくために、当科を紹介受診された食物蛋白誘発胃腸炎の患者さんについて診療録から情報を収集し、解析を行って参りたいと考えております。

研究期間：高知大学医学部倫理委員会承認後～2028 年 3 月

利用又は提供を開始する予定日：2026 年 2 月 20 日

3. 研究に用いる情報の種類

診療録より原因食物、過去の最大重症度、症状発現年齢（月齢）、症状発現前の原因食物の摂取歴、食物経口負荷試験の時期、方法と結果、耐性獲得していれば耐性獲得の年齢（月齢）、母親の分娩様式、周産期歴、既往歴、患児への栄養方法（母乳、人工乳、混合）、家族歴、血液検査の中で、IgE 依存性アレルギーに關与する特異的 IgE 値、本疾患に有用とされている TARC や好中球、好酸球の推移、便中好酸球数について収集します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知県南国市岡豊町小蓮

088-880-2355

高知大学医学部小児思春期医学教室 大石 拓

研究責任者：

高知大学医学部小児思春期医学教室 大石 拓

-----以上